

性的少数者と社会の課題は

宮崎産業経営大で講演会

性的少数者の人権を考
える講演会が5日、宮崎市の

宮崎産業経営大学であ
った。GID(性同一性障
害)学会理事長の中塚幹也
・岡山大学院教授(産婦
人科)も登壇し、LGBT
を巡る社会の課題を解説。

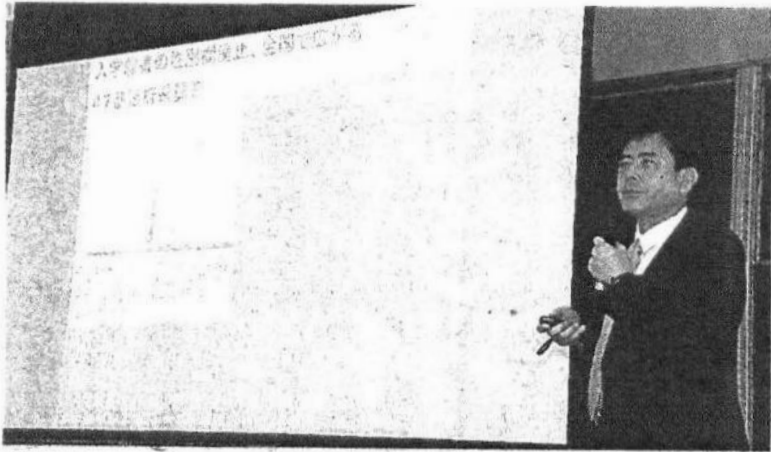
学生ら約60人が聴き入
った。

青木誠弘・宮崎産経大准
教授(憲法)は、又吉直樹
さんの芥川賞受賞作「火
花」を引用。お笑いのため
に豊胸手術をした男性芸人
が「性の問題に悩む人がた
くさんいる」と叱られて自
らの非を認める描写に着目
し、「個人の利益より共生
社会の実現を優先した点で
重要な場面」と話した。

中塚教授は、他人の性に
関する情報を同意なく明か
す「アウティング」の問題
に言及した。同性愛者であ
ることを同級生にばらされ
た大学院生の男性が建物か
ら転落死した問題を例に挙
げ、むやみな拡散を恐れる
性的少数者の心情への配慮
を訴えた。

宮崎産経大1年の時任裕
也さん(19)「宮崎市」は
「『異性カップルが当たり
前』の考えを改めないとい
けないと思った」と話し
た。

(高橋健人)



講師を務めた岡山大学院
の中塚幹也教授「宮崎市